

発表日	令和5年4月24日
担当課	島根県教育庁教育指導課
担当者	石田 弘美
連絡先	0852-22-6857

令和5年度島根県公立高等学校入学者選抜学力検査について

本概要は、令和5年3月7日に実施した学力検査における受検生の解答と得点状況を総括し、受検生の学力の傾向を示している。

なお、過去の平均点や得点状況のデータも参考として掲載しているが、年度により問題の難易に差があるため、単純に経年比較することはできない。

1 学力検査結果の概要について

受検生の得点状況及び受検生の約1割を抽出調査した結果に基づいて、学力検査結果全般から読み取れる学力の傾向は、次のとおり。

- ①基礎的・基本的な事項については概ね定着している。
- ②文章や図表などから何が問われているかを正確に読み取り、知識を相互に関連付けながら活用する力や、適切に表現する力に課題がある。

各教科ごとの問題別正答率や得点分布状況、中学校・高校からの調査結果等について、さらに細かく分析し、それをまとめた「令和5年度島根県公立高等学校入学者選抜の結果と分析」を作成し、6月に公表する予定。

2 学力検査得点状況について

＜平均点について＞

- 5教科総合の平均点は139.2点
- 各教科の平均点
 - 国語・・・30.6点
 - 社会・・・27.9点
 - 数学・・・26.3点
 - 理科・・・29.8点
 - 英語・・・24.6点

※ 各教科50点満点、合計250点満点

＜各教科の得点分布について＞

- 国語については、35点以上の得点者が増加し、30点未満の得点者が減少した。
- 社会については、30点未満の得点者が増加し、35点以上の得点者が減少した。
- 数学については、35点以上の得点者が増加し、30点未満の得点者が減少した。
- 理科については、35点以上の得点者が増加し、30点未満の得点者が減少した。
- 英語については、ほぼ昨年並み。

＜総得点分布について＞

- 160点以上の層が増加し、140点未満の得点層が減少した。

3 今後の予定

今後、中学校長会、高等学校長会を通じて状況把握を行い、これらの意見も参考にしながら、中学校、高等学校教員を委員とする「令和6年度島根県公立高等学校入学者選抜実施要綱検討委員会」において、次年度の入学者選抜について検討していく予定。